



読む・知る・学ぶ場

竹原書院図書館



「竹原書院図書館」について

市の図書館は、江戸時代に町の学問どころ「竹原書院」として開設され、市立竹原書院図書館として引き継がれた創立百年を越える歴史ある図書館です。

現在、小説・学術書・絵本・実用書などの書籍のほか、雑誌や新聞、郷土の過去を記した貴重な資料など、18万冊余りの図書や資料があります。

歴史的、世界的、文化的等幅広い視野に立つて蔵書を揃え、市民の「読みたい。知りたい。学びたい。」の気持ちに添えるため、赤ちゃんから高齢者まで、様々なシーンでご利用いただけるよう、市民が必要とする知識や情報を提供するよう心がけています。

また、催しや展示を通じて、生涯学習や文化活動に対する情報発信もなっています。

地理的条件や様々な事情から直接図書館での利用が困難な人に対しては、市内39ステーションを巡回する自動車文庫「わかたけ3号」をご利用いただいています。

図書館の活用

図書館では日々様々な質問を受けています。

「夏休みの自由研究は何をしようかな?」「地域の稲荷神社の謂れは?」「野菜・果物がたくさんとれたから、保存や調理法は?」「健診結果の詳しい見方は?」など、利用者の知識・情報収集に対する要求は多種多用で、自らが主体となって学習する姿が見られます。

また、ご家族で来館され、児童室や雑誌コーナー・一般書コーナーなどで各々が読みたい本を楽しそうに探し、持ち寄る様子や、児童室で本を読んでもらっている微笑ましい姿をみかけることもあり、多くの市民にそれぞれの方法で活用していただいています。

読みたい本を探すには

図書館では、お探しの図書・資料を探す相談に応じています。テレビや新聞で紹介された本、以前読んだけどもう一度読みたいなど、探したい本がある時には図書館のカウンターや電話等で職員にお尋ねください。

い。蔵書に無い本は「リクエスト」としてお受けし、新たに購入するか、購入できない場合は県内の図書館から借りてお貸しすることも可能です。

インターネットが利用できる人は、図書館のホームページから蔵書の検索や予約、自分の借りている本や返却期日の確認、また貸出中の本の予約等することもできます。詳しくは、図書館までお問い合わせください。

これからの図書館

めまぐるしく変化する社会情勢や多くの情報、多種多様な生活スタイルと共に図書館も変化し、成長していく必要があります。

「読む。知る。学ぶ。」場として、子どもから高齢者まで、また障害者や外国人等、全ての人が安心して利用できる、気軽に足を運びたくなるような地域に根ざした図書館を目指してまいります。

問い合わせ

市立竹原書院図書館
☎ 22-0778

「人と人との関わりの中で」

私たちは決して一人で生きているのではなく、人と人との関わりの中で日々生活し、その関わりの中で成長しています。

では、どのように人と関わったら良いのでしょうか?

私たちの暮らす社会にはさまざまな人がいて、人の数だけそれぞれ違った考え方があります。ときには自分とまったく異なる考えを持った人と関わることがあるかもしれません。そんな時は、相手の考えを否定することや、自分の考えを押し付けよう心がけながら自分の考えも大切にしましょう。自分と相手、お互いがお互いを尊重する気持ちを持ち、行動することによりよい関係を築けるはずです。

めまぐるしく変わる社会情勢の中、お互いを敬い暮らししていくことで、全ての人がそれぞれの能力を発揮し、これからの時代を生き抜く力を付けて楽しい未来を実現していきましょう。

問い合わせ

たけはら男女共同参画社会づくり実行委員会
(人権推進室内)

☎ 22-7736